

小説版の志田周子 医師団体機関紙に

映画の脚本担当 阿部さんが執筆



「志田周子の生涯を
銀幕に甦らせる会」
の阿部幸一会長から
話を聞く丸山七菜子
さん
——西川町

西川町大井沢で地域医療に尽くした女性医師・志田周子(1910〜62年)を題材とした映画制作に関連し、脚本担当の阿部美佳さん(尾花沢市出身)が志田の生きざまをテーマに書き下ろす小説「いしゃ先生」が、全国の開業医や歯科医で組織する全国保険医団体連合会(東京)の機関紙「全国保険医新聞」に掲載されることが決まった。

知名度アップに期待

同紙は全国の会員約10万4千人を対象に月3回発行しており、部数は約11万部。小説は5月15日付の紙面からタブロイド判1面を使って毎回連載し、約30回を予定。

ことし2月に設立された「志田周子の生涯を銀幕に甦(よみがえ)らせる会」(会長・阿部幸一月山朝

日観光協会長)の映画化運動と同時並行的に執筆していく。

阿部さんは山形新聞の文面面で映画制作の進捗(しんちょく)状況を伝えるコラム「いしゃ先生 町おこし映画週末(てんまつ)記」を3月から連載中(月1回)。小説の連載で医療界における志田の知名度アッ

プが見込まれ、映画制作の資金集めに向けて弾みとなることが期待される。

連載に先立つ小説紹介の取材で、同連合会事務局・新聞部の丸山七菜子さん(30)が11、12日、同町を訪れ、大井沢の旧診療所や自然を見学。志田の弟・悌二郎さんや、甦らせる会の阿部会長らと面会し、人柄やエピソードを聞いた。25日付の紙面で志田の特集を組む予定で、丸山さんは「全国各地域医療に励む医師を元気づける記事にしたい」と話している。